

しんぶん
赤旗

日刊 ●月 3497円
日曜版 ●月 930円

南地域後援会は本町・寿・緑・若松・栄・白山・船戸・新田がエリア

連絡をいただければ「しんぶん赤旗」の見本を届けます



しらかば

日本共産党我孫子南地域後援会
発行責任者 木村 文次

船橋まさるさんを必ず市議会へ！



我孫子市議会議員選挙は11月12日告示、19日投票。2期8年の野村さだお議員の後を引き継ぎ、我孫子市政に挑戦する船橋まさるさんに決意をインターネットしました。

―市議会選挙に立候補する理由は

年齢を重ねてきました。人生一回の思い切った挑戦として、日本共産党我孫子市議会議員、野村さだお議員の宝の議席をなくしたくないと思いました。長年培ってきた、土木業での経験を活かして市民の皆さんのためになればと思えました。

今、自公政権が進める大軍拡政治にストップをかけなければいけない。「平和が一番」で我孫子市平和宣言を文字通り実行したい。

―今の我孫子市政に一番足りないものは何ですか

若い人が行きたい、そして住みたいと思えるような街の活性化が見られません。

―野村さだお議員の後をうけて、どのような議員活動をしていきますか

野村議員は困難と思われた我孫子駅構内のエレベーター設置を実現しました。

私は建築・土木業に携わってきた経験を活かして、住宅に関するお手がけしたい。現在、市内各所で発生している浸水などの身近な問題について、市民の皆さんが困っていることを一刻も早く解決していきたい。

―議員に当選されましたら何から取り組まれますか

私は子ども達が好きです。ので、やはり一番目として通学路の安全対策ですね。特に国道356号は道幅も狭く、デコボコになっている危険な箇所が市内いたるところにあります。県とともに思い切った道路政策が必要です。

次に小中学校の給食費の完全無料化です。給食は現在、全校に配置された調理・栄養士さんの元で、自校で調理されています。調理では我孫子産の米・野菜なども使っています。子ども達からも「美味しい」と好評です。

学校給食は、知育・体育と同じように食育として学校教育の根幹をなすものです。ぜひ完全無料化を実現したい。

そして街づくりです。昨今の災害の厳しさから、災害を未然に防ぐ強い街づくりを。

同時に、我孫子市がこれまで守ってきた自然あふれる環境を、これからも維持していく街づくりを押し進めたい。

市民の皆さん、暮らし

毎年11月9日から11月15日までの7日間は「秋の全国火災予防運動」。タイトルの標語は2023年度の全国統一防火標語。

この時期は町内会地域やマンション管理組合主催で消防訓練が行われますが、我が地域でも我孫子西消防署の指導で、10番通報、消火器やAEDの使い方等の消防訓練が実施されました。

我孫子西消防隊長の講話の中で、119番通報で特に重要なのは、①火事が起きている場所、②火災の状況、③

火を消して 不安を消して つなぐ未来

怪我人の有無の3点。一刻も早く消火活動を行うためにも正確な情報が必要なのです。

消防訓練で残念なのは、毎年参加者が少ないこと。

火事はいつ起きるかわからないし、起きないかもしれない。だからこそ消防訓練は必要では。

(緑 T)




やすい我孫子市政に、一緒に進めて参りましょう。

―人生一回の思い切った挑戦―その強い決意のためにも、船橋まさるさんを必ず市議会へ押し上げよう。

(編集部)

日本共産党我孫子市議団のホームページのサイトは <https://jcp-abiko.com/> です。

QRコードはこちらから。→

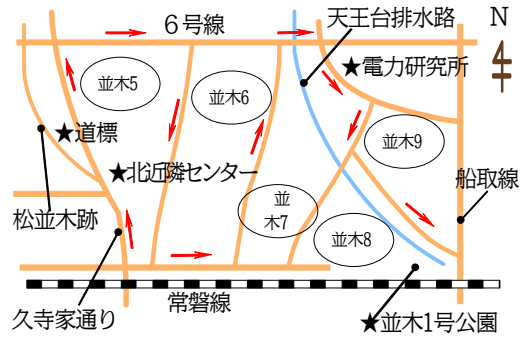


船橋まさる事務所にいると色々な事があります。先日、一人の男性が騒音問題の相談にやってきました▼その2日後、柏選出の加藤英雄真議にその相談事を伝えました▼我孫子市だけでなく、千葉県も動いてくれないと解決しない問題だったからです▼相談者の名前と住所は教えてもらっていましたが、電話番号が分からなかったため訪問して見ました。県会議員が動いていることを伝え、相談事だけでなく、お互いの持病の話等もしました▼船橋事務所に戻ると、加藤議員から私に電話があったそうです。県が動いてくれることになったことを伝えて欲しいという内容でした▼加藤真議に伝えてからまだ3時間位しか経っていません。素早い対応に共産党の議員はさすがだなと思いました▼その3日後、私が事務所を離れていた時、相談者の男性が私を訪ねて来ました▼町内会等に相談しても解決しなかった問題が、共産党に相談したらすぐに良い方向に向かっていることに感謝していることでした▼この問題は完全に解決した訳ではありませんが、最近世相を反映して、共産党への生活相談が増えています▼投票日は19日。市民に寄り添い、すぐに動いてくれる日本共産党の宝の2議席を必ず守りましょう。

(R)



我孫子古道巡り 2065 並木五丁目を巡る



お久しぶりです。今回は「並木」を巡ります。並木の名前はおそらく「字並木」(並木5・6丁目の北側)が元になっていると思われま。近くに「天子社」の参道の松並木があり、この地名になったのでしょうか。並木には縄文時代からの「遠坪遺跡」「並木遺跡」「稲荷峠遺跡」が発掘されましたが、宅地化で遺跡は残っていません。昭和48年に住居表示され、西から並木5丁目〜8丁目となり、北東部が並木9丁目です。

さらに西側は「並木1〜4丁目」となる予定でしたが、「我孫子」の名前を残したいとの意見が多く、現在の「我孫子1〜4丁目」



並木5・6丁目の堺の道

中のお宅の表札には昔の「東葛飾郡我孫子町我孫子」歴史」

6号線を東に向かい、南に5・6丁目の堺の道を歩きます。左右の小道を入ると坂道となり迷路のようです。宅地化したときに道の幅をせず、おそらく昔の道幅のままのようです。途

左側には道標と天子社への松並木跡の小道が残っています。6号線を東に向かい、南に5・6丁目の堺の道を歩きます。左右の小道を入ると坂道となり迷路のようです。宅地化したときに道の幅をせず、おそらく昔の道幅のままのようです。途

久寺家通りを北上します。右側には平成22年開館の「我孫子北近隣センター」並木本館」があります。

常磐線に突き当たり、東に向かい、6・7丁目の堺の道を北に歩きます。ここから東は低地で、度重なる水害に見舞われました。6号線に突き当たり東に向かうと「電力中央研究所」の森が見えます。この右側が並木9丁目です。「天王台排水路」があり、泉から常磐線の下を通り、6号線の下を抜け「つくし野川」と合流し利根川に流れます。排水路に沿って東南に歩くと常磐線に沿った「並木1号公園」があります。やがて「船取線」に出てきました。(栄 関口)

中のお宅の表札には昔の「東葛飾郡我孫子町我孫子」歴史」

6号線を東に向かい、南に5・6丁目の堺の道を歩きます。左右の小道を入ると坂道となり迷路のようです。宅地化したときに道の幅をせず、おそらく昔の道幅のままのようです。途

左側には道標と天子社への松並木跡の小道が残っています。6号線を東に向かい、南に5・6丁目の堺の道を歩きます。左右の小道を入ると坂道となり迷路のようです。宅地化したときに道の幅をせず、おそらく昔の道幅のままのようです。途

常磐線に突き当たり、東に向かい、6・7丁目の堺の道を北に歩きます。ここから東は低地で、度重なる水害に見舞われました。6号線に突き当たり東に向かうと「電力中央研究所」の森が見えます。この右側が並木9丁目です。「天王台排水路」があり、泉から常磐線の下を通り、6号線の下を抜け「つくし野川」と合流し利根川に流れます。排水路に沿って東南に歩くと常磐線に沿った「並木1号公園」があります。やがて「船取線」に出てきました。(栄 関口)

結果的に、取手〜平間の交流電化に要した当時の総工事費(車両費のぞく)は53億2900万円でした。この地上設備の総工事費については、直流電化の設備よりも安くできたときれいですが、気象庁地磁気観測所移転費用の見積もり

戦後の経済成長が何よりも重視された当時、日立製作所や常磐炭鉱など、常磐線沿線の産業分野や、都市交通に及ぼす経済的な影響はきわめて大きく、地磁気観測所の移転を優先させることも選択肢としてあっても不思議ではないように思われます。

戦後の経済成長が何よりも重視された当時、日立製作所や常磐炭鉱など、常磐線沿線の産業分野や、都市交通に及ぼす経済的な影響はきわめて大きく、地磁気観測所の移転を優先させることも選択肢としてあっても不思議ではないように思われます。

戦後の経済成長が何よりも重視された当時、日立製作所や常磐炭鉱など、常磐線沿線の産業分野や、都市交通に及ぼす経済的な影響はきわめて大きく、地磁気観測所の移転を優先させることも選択肢としてあっても不思議ではないように思われます。

結果的に、取手〜平間の交流電化に要した当時の総工事費(車両費のぞく)は53億2900万円でした。この地上設備の総工事費については、直流電化の設備よりも安くできたときれいですが、気象庁地磁気観測所移転費用の見積もり

戦後の経済成長が何よりも重視された当時、日立製作所や常磐炭鉱など、常磐線沿線の産業分野や、都市交通に及ぼす経済的な影響はきわめて大きく、地磁気観測所の移転を優先させることも選択肢としてあっても不思議ではないように思われます。

戦後の経済成長が何よりも重視された当時、日立製作所や常磐炭鉱など、常磐線沿線の産業分野や、都市交通に及ぼす経済的な影響はきわめて大きく、地磁気観測所の移転を優先させることも選択肢としてあっても不思議ではないように思われます。

戦後の経済成長が何よりも重視された当時、日立製作所や常磐炭鉱など、常磐線沿線の産業分野や、都市交通に及ぼす経済的な影響はきわめて大きく、地磁気観測所の移転を優先させることも選択肢としてあっても不思議ではないように思われます。

戦後の経済成長が何よりも重視された当時、日立製作所や常磐炭鉱など、常磐線沿線の産業分野や、都市交通に及ぼす経済的な影響はきわめて大きく、地磁気観測所の移転を優先させることも選択肢としてあっても不思議ではないように思われます。



「ハイビスカス」 若松・高橋祥子

しらかば文芸欄 14 書道・寿 芳華



元々はゲーテの言葉ですが、その後武者小路実篤の詞で有名になりました

上に資するためにも、世界的に展開されている地磁気



観測の維持が重視されたのかもしれない。(緑 竹内) 常磐線取手〜藤代間のデックセクション(左電柱下のマークが目印)